

校長室より

県立大崎高等学校長 平山 隆

平成からバトンを受け取った令和元年度も終わりを迎えようとしています。本校66回生の卒業式は新型コロナウイルス感染症が心配される中、マスク着用や時間短縮等の配慮を行いながらでしたが、厳かで温かい雰囲気の大崎高校らしい立派な卒業式でした。本校生には場面に応じて態度を切り替えられるという長所があります。証書授与の時の呼名に対する卒業生の返事の声や式歌を歌う卒業生と在校生の歌声にその長所がよく表れていました。

さて、令和2年度がもうすぐスタートします。新しく3年生になる皆さんは最後の高総体、夏の大会、就職試験、進学試験を迎えます。高校生活の中で一番たいへんな1年、でも一番思い出に残る1年でもあります。新2年生は力をつける年。2学期からは学校をリードする学年となります。一方で、新型の感染症はいつ終息するかの目処も立ちません。今年は東京オリンピックも予定されていますが、全世界にこのウィルスの被害が広がりつつあり、開催されるかどうかさえ微妙なところ。この様な時は不安ばかりが先行し、どう行動していいかわからなくなりがちですが、皆さんは手の消毒を行い不要な外出を避けるなど、今できる感染防止の対策をしっかり行い、心を落ち着けて毎日をごしましょう。

先日、以前勤めていた高校での教え子達と会って話をする機会がありました。卒業してもう何年も経つのに、会ってすぐに高校時代の姿が思い出されました。勉強のわからないところを職員室によく質問に来ていた姿、部活動で活躍し喜んでる姿、弁論の練習を教室でひとり黙々としている姿など、それぞれ一生懸命頑張っていたことが思い出されました。今は皆社会人として生活しており、担当している仕事、そのやり甲斐や難しさを話してくれました。とても頼もしく感じると共に現在の姿は高校時代のあの頑張りの延長線上にあるんだと実感しました。高校の時よりみんな少し歳はとっていましたが、本質は何ら変わらなかったからです。

高校時代は将来の生き方の基礎を作る時。だからといって何ら構える必要はありません。今やるべきことに全力を尽くしましょう。それが皆さんの未来を形作っていきます。

# 第66回 卒業証書授与式



令和元年度第66回卒業証書授与式が、令和2年3月1日（日）午前10時より本校体育館において挙行政され、平山校長から32名の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

校長式辞に続き、来賓を代表して西海市長杉澤泰彦様より御祝辞をいただきました。

在校生代表として倉谷龍聖さんが送辞を述べ、クリティアーノ・ロナウドの言葉「苦しみのない栄光などない」を引用し、困難を乗り越えた先に栄光が待っていると卒業生にエールを送りました。また卒業生代表、越戸麗夢さんは答辞の中で、「今の自分が未来の己の土台となる」を胸に、「困難にもめげることなく挑み続け、それぞれの夢や幸せを掴み取ることを誓います」と力強く述べました。66回生が大崎高校で学んだ思い出を胸に、それぞれの道で活躍し、幸多い人生を歩むことを心より祈っています。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、本校では参加者全員がマスクを着用するなどの対応をとることで、中止や大幅な縮小をすることなく例年通り実施することができました。参加者の皆様のご理解とご協力にこの場を借りて御礼申し上げます。



32名が大崎高校で学んだ日々を胸に、それぞれの選んだ道で活躍し、幸多き人生を歩むことを心より祈っています。

## 高校入試合格者発表

合格者 36名

4月から新たな仲間が加わります。春めいた新しい風が大崎高校に吹き込んでくれることでしょう。

早く学校に慣れ、楽しい大崎高校生活が送れるように、先輩として見本を見せ、色々と教えてあげてください。

### 4・5月行事予定

- 4月 8日（水）新・転任式 始業式 大掃除  
入学式 対面式 PTA入会式
- 9日（木）進路マップ・スタディサポート  
HR役員選出 容儀検査
- 10日（金）新入生研修〔～13日（月）〕  
生徒会行事
- 14日（火）部活動編成集会 専門委員会
- 17日（金）身体測定・新体力テスト
- 28日（火）幼小中高歓迎遠足  
(大島幼稚園・大島東小・大崎中・大崎高)
- 5月 8日（金）中間考査〔～12日（火）〕  
※1年は9日（土）～
- 9日（土）PTA総会



- 胸部X線（1年）……………4/15（水）
- 心電図（1年）……………4/15（水）
- 眼科検診（1年）……………4/22（水）
- 歯科検診（全）……………4/24（金）
- 内科検診（1,2年）………4/30（木）  
（3年）……………5/21（木）
- 耳鼻科検診（1年）………6/18（木）
- 検尿（1次）……………4月（未定）

# 学年主任より～一年間をふり返って～

## 1 学年

「新しい自分の発見 はじける！」のスローガンで始まった68回生でしたが、1年間高校生として生活してきたどのような感想を持っていますか。中学生の時とは違って、新しい自分が発見できていればと思います。

1学期の幼小中高合同の遠足は、大崎中学校以外の方は初めての体験だったのではないのでしょうか。児童・生徒と交流し、意識が変わった人も多いことでしょう。総合的な探究の時間として、西海市史跡見学を行いました。3カ所程度しか見学ができませんでしたが、西海市の住民でありながら知らないことや見たことがないものがあったのではないのでしょうか。ペーロン体験では長崎の伝統行事に触れてもらい、息を合わせて1艘の船を操船し、団結力を養う事ができました。

2学期は松島火力発電所を見学し、地元の比較的近い所にこのような重要な施設があって、普段なにげなく使っているエネルギーの大切さをしっかりと学びました。後半は、環境美化を考える会代表の方の話を伺い、大島町の環境がどのような活動で綺麗に維持できているのか、それぞれ考えてもらいました。また、おさかな調理教室で地元漁協等のご協力で、さかなを刺身にするまでの工程を体験し、地産地消への意識を付けました。

3学期は消費生活講座で、近い将来に必要な契約の問題について学びました。18歳で成人になる皆さんにとって非常に有益な内容ではなかったかと思えます。後半はコロナウイルス感染拡大防止のため、自宅での学習が3週間ほど続きました。この時期を2年生になるための準備として生活をしていただくと信じています。

年間を通して、西海市との関わりを考えてもらいました。しっかりと西海市との関わりを考えて、来年度西海市に対して意見を言えるようにしましょう。

さあ、いよいよ中堅の2年生になります。部活動や学習で学校の中心になれるようにステップアップしていきましょう。  
(1学年主任 金子禎宏)

## 2 学年

**Change & Challenge!** —「変化」と「挑戦」、この言葉を学年目標にして、はや2年。この1年間はまさにその変化の一年でした。年号が変わり、大崎高校野球部は歴史を大きく塗り替え、大学入試制度は揺れ動き、そして、未曾有のウィルスによる前代未聞の臨時休校。環境や情勢はいつか変化するもの。まさに、諸行無常だと思わせる一年でした。しかし、最近ではこの変化が多岐にわたり、そのサイクルも短くなってきているように感じます。「変化」し続ける社会の中で、これから生きる皆さんはどう生きるべきなのか。

昨年、大崎高校で野球部の快挙が繰り広げられていたちょうどその頃、日本全国では空前のラグビーブームが巻き起こっていました。日本ラグビー史上初の8強入りを果たした日本代表。その勝利に大きく貢献したと言われるのが、ラグビー強豪国ニュージーランドからやってきたジェイミー・ジョセフ監督です。彼は、まだ世界と戦えていなかった頃の日本代表に、次のような言葉をかけたそうです。

**「日本人はチャレンジすることに消極的」「ミスを怖れることがミス」**

この言葉の裏を返せば、ミスを怖れず、積極的にチャレンジしたからこそ、ラグビー日本代表は高いステージへと駆け上がることできたと言えるかもしれません。挑戦には、勇気と覚悟が必要です。失敗は誰だって怖いもの。しかし、成功の秘訣は、まさにこの「挑戦」に隠されているのではないのでしょうか。「変化」と「挑戦」は表裏一体。あなた達の人生を大きく変える進路実現もまた、この挑戦の先にこそあると言えるでしょう。  
(2学年主任 山口祥子)



# 離任される先生方より

今年度、8名の先生が離任されます。転任先でのご活躍を祈念いたします。  
(なお、豊増先生は定年退職となりますが、引き続き本校で勤務されます。)



## 【校長】 < 平山 隆 > 退職

大崎高校には30代の頃7年間、今回校長として3年間、合計10年間勤めさせていただきました。私が教員として育ててもらったのも、2人の子供が生まれたのも大崎でした。昔も今も生徒達は素直で明るく、先生方の気持ちが熱い。そんな大崎が大好きです。最後が大崎で幸せでした。

## 【教諭/数学科】 < 金子 禎宏 > 西陵高校 へ異動

4年間勤めた中で印象に残っているのは、赴任してきた年の幼小中高合同の清掃活動です。私は崎戸地区の担当でしたが、地名も分からず右往左往しているときに、崎戸地区の生徒が率先して動いてくれたことを覚えています。心優しい大崎生よ永遠に！

## 【教諭/社会科】 < 山田 和浩 > 清峰高校 へ異動

6年間お世話になりました。月並みですが、長かったような、短かったような6年間でした。生徒諸君は高校卒業後の自分の姿をきちんと意識して、理想の進路に進むことができるように頑張ってください。応援しています。それではお元気で。

## 【教諭/英語科】 < 川邊 悦郎 > 長崎鶴洋高校 へ異動

4年間お世話になりました。みなさんと過ごした時間はあっという間でした。海に近い高校を今まで経験してきましたが、窓からすぐそばに海が見える教室は大崎高校が初めてでした。どうぞ健康にはくれぐれも注意して思い出に残る学校生活を過ごしてください。

## 【教諭/家庭科】 < 黒木あかね > 退職

この度主人の転勤に伴い、退職することになりました。中高で、ほとんどの生徒に授業で関わることができ、とても幸せでした。家庭科は自分と家族の生活を豊かにする教科です。授業で学んだことをぜひ生活にいかしてください。皆さんのこと忘れません。ありがとうございました。

## 【講師/家庭科】 < 福田啓以子 > 北松農業高校 へ異動

「縁あれば千里」という言葉を知っていますか？縁があれば遠く離れたところの人と会うこともあるし結ばれる。縁がなければ顔を合わせていても見えづらいというものです。縁あって大崎に来て、離れて、再び来てまた離れる。2度あることは3度あるというし、きっとまた会える可能性は高いのじゃないでしょうか。その時もみんなのいい笑顔を見せてください。その時まで元気で！！

## 【事務長】 < 豊村 治郎 > 西彼農業高校 へ異動

3年間、お世話になりました。生徒の皆さんの元気な挨拶と窓から見える中戸の素晴らしい景色、豊かな自然がとても印象的な学校でした。大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 【事務】 < 山口 実紀 > 退職

毎日聞こえる元気な挨拶、行事や日々の生活のなか頑張るみなさんの姿が、思い出深く心に残っています。大崎高校に勤めることができ、本当によかったです。2年間お世話になりました。ありがとうございました。

潮路の内容はホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。  
また、ご意見もお待ちしております。

HP <http://www2.news.ed.jp/section/osaki-h/> E-mail [osaki-h@news.ed.jp](mailto:osaki-h@news.ed.jp)